

じてんしゃ旅

大津・湖南・甲賀編



SETANOKARAHASHI / CHIKURININ / OTSUNAGISAKOEN
WÜRZBURG HAUS / MIHO MUSEUM / GYOKUKEJI / YAKIMONONMACHI
NOBORIGAMACAFE / KAMAMOTO SANSUKURO



旅びと

SHIMAKO

AYAKA

滋賀の魅力を味わう旅

身体を動かすことが大好きなSHIMAKO。休日になればスポーツを楽しむ。趣味は、旅行。二人が選んだのは滋賀県、自転車道で琵琶湖一周を計画し、手がかりの歴史の舞台であり、自然も豊かで見どころがいっぱい。さて、どんな旅になるかな。



「じてんしゃ旅」とは

【ピ】ワイチと聞くとなんだか本格的なサイクリスト向けだなと思ってしまうが、でも滋賀県には実は湖周以外にもサイクリング適地がいっぱい。どちらかというと距離やスピードにとられず、ゆったりマイペースで楽しむサイクリングにぴったりの場所がいっぱい。走りやすい道、自然豊かな大地、歴史の舞台となった有名な史跡、そして美味しい食べ物……。なんだか走り去ってしまうだけではもったいない土地なんです。



今回の旅は景色や観光地を見ながらゆっくりとサイクリングするスタイルで。自転車だからこそ感じられる空気感や匂い。目についたところにサッと立ち寄れる便利さ。そして自転車で行くからこそ味わえる満足感……。そんなゆっくりスタイルのサイクリングを、気の置けない旅仲間的女性二人がレンタサイクルに乗って旅するレポートです。



瀬田の春橋

SETOHOKARAHASHI



比叡山の麓、坂本の街にある里坊の旧竹林院。丹精込めて整えられた美しい庭園を見ていると、自然と時が経ってしまいました。どこぞを撮って絵になる場所。



古来より、壬申の乱など、日本の歴史の舞台となった瀬田の唐橋。瀬田川の流れを見ながら、古の出来事を想像しました。ワイチのスタートポイントとしても有名な橋。



CHIKURININ 旧竹林院



CHIKURININ



大津なぎさ公園

大津港から近江大橋周辺にある大津なぎさ公園はおまつり広場やサンシャインビーチ、市民プラザなど、さまざまなイベントなどが開催されるそう。ここから瀬田の唐橋を渡ってサイクリングで周回する人も多い。家族連れも多く市民や観光で訪れた人の憩いの場です。



ヴェルツブルグハウス



大津市の姉妹都市、ドイツ・ヴェルツブルグ市の強力で建築された、ドイツ・フランケン地方の民家を再現したレストラン。本格的なドイツ料理を味わうことができます。ここでしか飲めないドイツビールやノンアルコールビールが人気。



MIHO MUSEUM

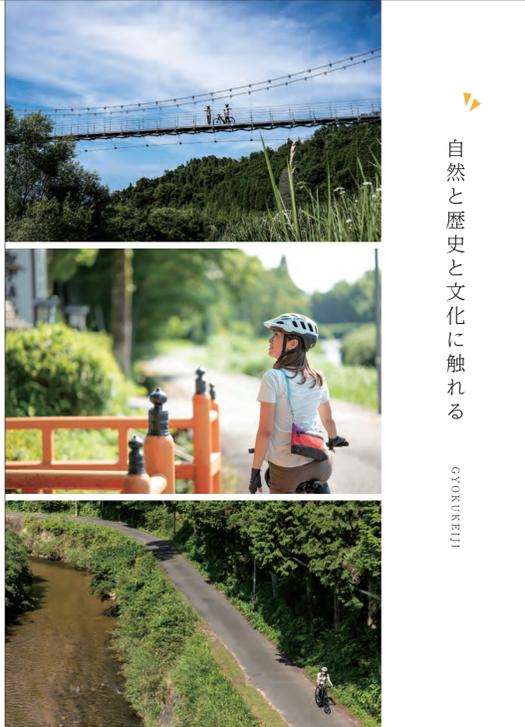
西洋と東洋の融合をテーマに、国内外の貴重な古美術を常設展示。展示品とともに、ルーブル美術館を手がけた世界的な建築家による施設が素晴らしい。



玉桂寺周辺

GYOKUKEJI

信楽高原鉄道の玉桂寺駅からの道につながる優良の吊り橋。そこから下を流れる大戸川を見下ろす景色は最高。信楽の自然を感じられるポイント。



自然と歴史と文化に触れる

GYOKUKEJI



焼き物の街



古窯が軒を連ねる信楽といえば、伝統的な登り窯が有名。こちらのカフェでは利用者に見せてくれます。斜面に建てられた特徴的な登り窯は下段から火を入れ、何日もかけて上段に炎を導いていくそう。



登り窯カフェ

NOBORIGAMA CAFE

こちらのカフェではなんと登り窯の中でコーヒーやスイーツをいただくことができる。窯の内部は焼き物と同じ色をしていても不思議な空間。食後も信楽名物の狸をモチーフにしたとってもカワイイもの。



窯元散策路

信楽と言えば 狸・たぬき・タヌキ！ それぞれ表情が違ってオモシロイ！

街角に隠れた写真スポットを探そう



旅の終わりに

EPILOGUE

SHIMAKO

大津・信楽エリアは、スポーツ走行としても適度に距離や傾度があって走りがいがありました。なにより食事がおいしくて大満足のサイクリングでした。湖と山のふたつを同時に楽しむことができました！

AYAKA

歴史好きの私にとって、大津と信楽は、かつて都が連れた街として有名でしたから楽しみでした。実際はやはり歴史や文化に溢れた土地で古の昔に思いを馳せることができました。ぜひまた来たいと思います！



じてんしゃ旅マップ No.1 大津・湖南・甲賀編

山も歴史も！大きく楽しむ南湖一周
←コースご案内サイト



🚲 = レンタサイクル

草津まちなかから信楽たぬきとお茶の里
←コースご案内サイト



1 日吉大社

 全国各地にある3,800余りの「山王(さんおう)さん」の総本宮です。比叡山麓の麓に広がり、延暦寺の門前坂本守神の鎮守神になります。境内は、本宮と西本宮の2区域からなり、ともに本殿は白き道(ひえく)といわれる特殊な建築で、国宝です。
 このほか、石の橋の重要文化財指定は珍しいといわれる日吉三橋(ひよきさんきょう)橋の彫刻がある朱色の西本宮様門、山王の「山」という文字を表した山王鳥居など、重要な文化財が多くあります。大宮川の深流が流れる清風の森に、見事な建築美を誇る数多くの社殿が点在し、特に秋は周囲の紅葉に社殿が映えてさらに美しい眺めになります。
 TEL077-578-0009

2 米ブラザ

 琵琶湖大橋有料道路をご利用される方々、その周辺道路を通行される方々のオアシスとして休憩所、情報発信、地域連携機能等を果たした「道の駅」としてオープンしました。
 施設内には周辺住民の方にも利用して頂けるコミュニティルーム「光り」や滋賀の米をはじめ県産農産物がそろった売場施設「おいしいうれしや」があります。
 TEL077-572-0504

9 サイクリストの聖地碑とBIWAKOモニュメント

 「サイクリストの聖地」記念碑は、滋賀県守山市がピワイチのスタート地点として定着することを願って設置されました。2021年に「BIWAKO」モニュメントも加わり、あわせてサイクリストが立ち寄る撮影スポットになっています。

10 大庄屋諏訪家屋敷

 江戸時代から庶民として残されている歴史ある古い建造物です。母屋、客殿、茶室など歴史の古い建造物で、市の指定文化財です。
 TEL077-516-8160

餅兵
 御膳頭餅兵は、宝暦年間(1751年~1763年)に大津東海道沿いに創立された和菓子屋です。四季の行事に因んだ生菓子、赤飯や饅頭の他、創作菓子を販売しています。
3 餅兵

 TEL077-522-7356

4 大津絵の店

 大津絵はもともと広く知られている大津の代表的な郷土みやげです。現在は紙や漆、墨、木製製品まで多種多様ですが、もともとは紙に描かれた絵でした。自由大で力強い線と朱色・黄土色・黒色などの鮮やかな原色で独特の味わいがある大津絵は、現在、4代目高橋松山氏によって伝えられている技術です。
 長等神社のそばに「大津絵の店」という看板が出され、昔ながらの紙に描かれたものから小絵画(こえま)・木彫り人形・茶碗・ひょうたんなど現代に活用できるものが、たくさん並んでいます。
 TEL077-524-5656

11 うの家

 第75代内閣総理大臣故宇野宗佑氏の生家で、通り酒屋だった旧宇野本家を改装して、2012年1月にオープンしました。
 キャララー展示のほか、喫茶や食事も楽しめます。
 TEL077-583-2366

12 信楽高原鐵道

 信楽高原鐵道は信楽駅とJR生川駅を片道24分で結ぶ小さなローカル列車です。急勾配を登る車窓からは四季折々の景色がうかがえます。ガタゴトのんびり列車の旅をおたのしみください。
 TEL0748-82-3391

ピワイチ出発の碑
 【瀨田の唐橋】東詰め北側に設置された、琵琶湖を自転車で1周するピワイチの記念碑とサイクリストのモニュメントです。
5

 TEL077-561-6636

6 草津宿本陣

 日本で現存する本陣の中で最大級の規模。新選組や皇女宮、その他数多くの大名、公家が休泊に利用しました。
 TEL077-561-6636

13 FUJITO

 信楽から少し山の方にいった先の丘の上に建っている陶器のお店 FUJITO。信楽焼の磁など、ゆっくりにお買い物ができるショップとショールームが併設されています。1Fから3Fまであり、信楽焼の器が多数揃えられています。
 TEL0748-83-1177

14 鶏鳴の滝

 信楽町南部山地区の山中にある滝です。滝の東方にそびえる笹ヶ岳(信楽最高峰)の山頂に古い寺跡があり、元日の朝になると、この寺跡の御池(あかいけ)から黄金の雫が流れ新年の春を告げるという伝説にちなんで名付けられています。
 鶏鳴の滝以外にも大小さまざまな滝が全部で8つあり、総称して「鶏鳴八滝」とよばれています。
 大自然に囲まれた滝は季節ごとに様々な表情がうかがえ、撮影スポットとしても人気があります。マイナスイオンたっぷり、ぜひ癒されたいお越しください!

7 ai 彩ひろば

 TEL077-568-2941
 旧草津川は川床が民衆の屋敷よりも高い全館的にも有名な天竺川でした。南川となり、川としての役割を終えた旧草津川は、2017年4月に草津川跡地公園として生まれ変わりました。四季の移り変わりを感ぜられる、緑あふれる公園です。いちご狩り体験などをお楽しみいただける農産カフェ「ストロベリーファクトリー」も人気です。

8 宿場そば

 打ち立て ゆがきたての名代宿場そば。蕎麦は、毎朝手打ちしたもの、蕎麦汁は、じっくりねかせた「かえし」を柔らかく豊かな旨みに仕上げます。天婦羅は、厳選した素材のみが使用されています。
 TEL077-562-0816

ピワイチマインド 3つの「こ」

- 共有** 車や歩行者とゆすりあいながらルールを守り走り。住宅の近くはゆっくり走りませう。
- 交流** 仲間を声掛け合って走りませう。人や他の自転車の近くを通る時はあいさつませう。
- 発見** ところどころとゆとりと楽しみを

滋賀のじてんしゃ旅でシガリズムを満喫しよう!

- シガリズム
- BIWAICHI ピワイチ
- +cyclo

滋賀のリズムにふれて、心のリズムをととのえる旅へ。

- びわ湖1周の基礎知識
- ピワイチサポート情報
- WEBマップ
- 輪の国びわ湖とは? 他
- 自転車の基礎知識
- 自転車条例
- レンタサイクル
- サイクルサポートステーション 他

発行元: 滋賀県庁 発行先: 滋賀県庁、サイクル推進協議会
 問い合わせ先: 滋賀県 観光情報課 びわ湖推進室 〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1-1 TEL077-528-3746 FAX077-528-4877